

| | | | | | |
|-------------|-------------|--|---|--|---|
| 法人（事業所）理念 | | 私たちは「愛と感謝と奉仕」の経営理念のもとに、地域共生社会の実現に向けて、世代や障がいの有無を問わず、ご利用者のご家族の多様なニーズに対応し、すべての人がキラキラと笑顔で過ごすためのパートナーを目指します。 人と人とのつながりを大切に木田の里をとりまく地域社会の福祉向上に貢献します。 | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・他児との関わりや活動を通して、安心して過ごすことが出来るよう、笑顔あふれる、あたたかな雰囲気を作り、人と関わる楽しさや嬉しさ、人から愛される力や社会で生きていく力を様々な遊びの中で育みます。 ・支援者の心のこもったコミュニケーションで、小さな発見や感動をお互いに喜び合い、心通う豊かな人間関係を作ります。 ・好きなこと・得意なこと等、興味を広げていくことで、できることを増やし、「やりたい!」という気持ちを大切に、「できる!」喜びを実感し、なにごとにもチャレンジし、できる喜びを感じながら自立心を育て、人と関わる力の向上を目指します。 | | | |
| 営業時間 | | 10:00~19:00 (サービス提供時間 学校終了~18:00) | 送迎実施の有無 | あり なし | |
| 営業時間（学校休校日） | | 8:30~17:30 (サービス提供時間 9:30~16:00) | 送迎実施の有無（学校休業日） | あり なし | |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| | | 一学期 | 二学期 | 三学期 | 長期休校、祝日 |
| 本人支援 | 健康・生活 | 進級・進学し、新しい環境になることによって起こる体調変化に気づき、自分から伝えられるように支援していく。 | 自分でスケジュールの確認を行い、時計やタイムタイマーを確認して行動できるようになる。 自分の安心して過ごせる場所を見つける。 | 毎日元気に過ごし、活動や遊びを通して、自分で楽しみを見つける。 | 散歩に出かけて自然に触れたり、探索したり、太陽の陽ざしをあびながら元気に身体を動かすことで基礎体力をつけていく。 植物の栽培や肥料をあげたり、草取りを通して育てる楽しみや興味を持つ。 |
| | 運動・感覚 | 体を動かす遊びや活動を通して、体幹機能やバランス感覚を養う。 | 自立課題や制作活動に取り組むことで、つかむ・つまむ、量を加減するなどの手や指の感覚を養う。 | 楽しみながら運動や活動を繰り返し行うことで、感覚機能が統合されていき、身体を上手く動かせるようになっていく。 | 様々な素材に触れ、感触の違いを楽しみながら、その感触に慣れていく。 |
| | 認知・行動 | 宿題や自立課題を姿勢よく集中して行えるよう環境を整え、支援していく。 | 「やってみよう」という好奇心を大切に、チャレンジしようとする力を育てていく。 | やりたいことを一緒に考えながら行い、できたことを褒め、意欲へ繋げていく。 | 工作やカード遊び、玩具を通して文字や数の概念、考える力や注意力を高めていく。 |
| | 言語コミュニケーション | 新しいお友だちや大人との関わり中で、安心して交流できる環境づくりや支援をしていく。 多様なコミュニケーション手段を活用して、意思の伝達ができるように子どもに合った方法を工夫していく。 | 遊びや活動を通して、イメージを豊かにし、語彙力を高めていく。 | 子どもが自分の気持ちを表現したり、他者との関わりの中で感じた気持ちを大切にして、感情の理解ができるようになる。 | 朝の会を行い、発言の機会を設けることで、自分の考えや気持ちを言葉にして伝えることができる。 |
| | 人間関係社会性 | 支援者と友だちに自分の気持ちを伝えられるよう、信頼関係を築いていく。 | 集団でのルールのある遊びを通して、決まり事を守る大切さ、他者との関わり方を学びながら協調性を育てていく。 | 支援者やお友だちと一緒に共同制作に取り組むことで役割分担が生じる場面を活用し、協力の必要性を体験する中で、責任感と達成感を育む。 | 様々な社会資源を活用し体験することで、興味や活動範囲を広げていく。 |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・療育の様子を丁寧に伝え、保護者との信頼関係を築き、保護者の不安や悩みに寄り添うことで解決方法を共に考えていく ・家庭での様子をICTシステムHUGや対面で伝えていただき、子ども達の情報を共有し、療育に役立てていく。 ・定期的に家族交流会や個別面談を行い、保護者同士の繋がりを作ったり家庭での関わり方を一緒に学び援助したり、きょうだい児の相談、支援を行う。 | | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭、保育園等からの移行に向けた取り組みの共有、連絡調整を行う。 ・きだっこから地域や社会（家庭や児童クラブ、就労等）への移行にあたり、子どもたちが安心して過ごすことができるように引き継ぎや移行後の連携、情報共有をおこなう。 |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自施設の高齢者デイサービスとの交流を通して、行事を一緒に楽しみお年寄りの優しさに触れ親しみをもつ。 ・子どもに関わる関係機関や福祉サービス事業所等と連携をして子どもや家族の支援を進めていく。 | | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修会（発達支援事業研修会、メンタルヘルス研修、災害時対応研修、虐待防止研修、ふくし研修会、救急救命訓練など）に積極的に参加し職員間で共有し支援に役立てている。 ・月1回、事例検討をし多様な視点で解決策を導き出している。 |
| 主な行事等 | | お花見、七夕、夏祭り、うどんパーティー、ハロウィンパーティ、焼き芋パーティ、クリスマス会、豆まき、頑張ったね会、家族交流会（6月/12月）、避難訓練、誕生会、地域での買い物 | | | |